

大船渡・釜石発

「新鍬台トンネル」着工



被災地復興の大動脈として整備が進む三陸沿岸道路で、最長のトンネルとなる「新鍬台トンネル」が着工しました。仙台から八戸までをつな

ぐ三陸沿岸道路の中でも最長のトンネルとなる3330メートルの新鍬台トンネルは大船渡市と釜石市の境にあります。平成28年の9月に完成予定で、トンネルを含む全長14キロの「吉浜釜石道路」が開通すれば、現在1時間かかっている県立釜石病院から県立大船渡病院への救急搬送が35分程度に短縮できることとなります。(8/28 ニュースエコー)

大槌発

「持ち主不明写真」返還事業



大槌町の被災エリアで、津波が押し寄せた家の跡やガレキ撤去の際に見つかった持ち主不明の写真は膨大な数に上ります。去年7月から町の委託を受け、NPO「ぐるっとおうち」が写真の返還事業を行っています。週3回、町内の仮設団地の集会所を回り、きれいに洗浄した写真の展示を行っています。この事業を始めた去年の夏頃は、1日30人以上集まった日もありましたが、回を重ねる度に訪れる人は減っています。NPOの事務所には、巡回している写真とは別に、約6万枚が保管されています。1枚でも多く、持ち主の元へ返したいと、被災地では地道な取り組みが続けられています。

(8/29 ニュースエコー)



宮古発

小学生が「震災遺構」見学



津波の恐ろしさを学び、今後の防災教育に役立てようと宮古市の山あいにある川井西小学校の全校児童13人が市内の震災遺構施設を見学しました。児童たちが訪れたのは宮古市崎山地区にある震災遺構施設「震災メモリアルパーク中の浜」です。被災した当時の姿を残すキャンプ場のトイレや炊事棟を見た後、訪れた人の視線が遡上した津波と同じ高さになるよう設計された海拔13メートルの丘に登り、津波の大きさをイメージしていました。学校関係者は「津波に限らず災害の恐ろしさを身近に感じて、命を守ることを学んでほしい」と話していました。(8/29 ニュースエコー)



宮古発

写 さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、サンマの話題を伝えてくれました。今年も目黒駅前商店街の「目黒さんま祭り」には宮古から7000匹のサンマを提供します。また9月20日、21日は「浄土ヶ浜さんまフェスタ」が行われ、1500匹のサンマを先着順で1人に1本プレゼントすることです。会場には焼き台を準備し、その場で焼きたてを食べることもできるほか、すり身汁やひつつみ汁のお振る舞い、有料のサンマのつかみ取りなどのイベントも行われます。箱石さんは「ぜひお腹をすかせて宮古にいらしてください」と話していました。(9/3)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122